

事業報告書

平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係
(引 受)

区分	項目	組合員数	引受面積	引受収量	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金または納入保険料(B)	手持共済掛金(A)±(B)	
										人
	水 稲	19,997	1,949,550	69,312,974		11,325,451,775	5,338,455	交 2,492,309	7,830,764	
	陸 稲	21	2,256	36,351		5,852,511	483,916	納 239,126	244,790	
麦	28年産	一筆方式	10	17,009	301,680		8,110,297	274,184	交 36,902,427	132,558,744
		災害収入方式	467	463,944		1,603,050,494	1,436,757,191	95,382,133		
		小 計	477	480,953	301,680	1,603,050,494	1,444,867,488	95,656,317		
	29年産	一筆方式	11	16,722	310,780		17,920,190	626,974	交 40,643,152	145,612,409
		災害収入方式	441	467,702		1,738,038,708	1,563,172,495	104,342,283		
		小 計	452	484,424	310,780	1,738,038,708	1,581,092,685	104,969,257		
	合 計	20,470	2,436,230	69,660,105	1,738,038,708	12,912,396,971	110,791,628	42,896,335	153,687,963	

(注) 合計は、麦(平成29年産)で算出する。

(被 害)

区分	項目	被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共 済 金
						人
	水 稲	145	4,898.1	59,750	10,720,394	0.1%
	陸 稲	19	1,613.1	13,125	2,113,125	36.1
麦	一筆方式	3	259.1	985	104,565	1.3
	災害収入方式	254	173,613.9	1,536,446	97,935,359	6.8
	小 計	257	173,873.0	1,537,431	98,039,924	6.8
	合 計	421	180,384.2	1,610,306	110,873,443	

【被害状況】

【水稲】

8月22日の台風9号の暴風雨により冠水・浸水及び倒伏した圃場が見受けられ、それ以降の天候不順により刈取りが遅れた圃場においては穂発芽等の発生により減収となった。また、イネ縮葉枯病が管内各地において発生し、感染した茎は穂が出すくみになったり、出穂しても不稔や奇形となり減収した圃場があった。桜川市(真壁・大和地域)の山間部においては、電気柵の設置等により被害防止に努めているものの、イノシシの食害等による被害が発生した。

【陸稲】

梅雨明け後の一定期間降雨がほとんどなかったことから、干害が管内全域において発生した。これにより、青立ちになった圃場が多く見受けられ、白穂や不稔粒が発生し全体的に屑粒の増加等により大幅な減収につながった。また、遅蒔きの圃場においては、8月22日の台風9号の暴風雨により倒伏し、減収となった圃場があった。

【麦類】

全麦種において水捌けの悪い水田で湿害を受ける等の被害が発生し、連作耕地では縮萎縮病が散見された。また、5月上旬の強風及び降雨により倒伏した圃場が大麦を主に見受けられ、屑粒の増加等により大幅な減収となった。

(支 払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金共済金
				保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
	水 稲	12月13日	10,720,394	2,680,098	7,830,764	209,532			100%
	陸 稲	12月13日	2,113,125	1,459,107	244,790	409,228			100
麦	一筆方式	9月7日	104,565	26,140	73,529,945				100
	災害収入方式	12月13日	97,935,359	24,483,839					
	小 計		98,039,924	24,509,979	73,529,945				
	合 計		110,873,443	28,649,184	81,605,499	618,760	0	0	100

(2) 畑作物共済関係

(引 受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
畑作物区分								
大豆	半相殺・一筆方式	16	18,983	193,345	38,512,651	1,697,291	942,941	754,350
	全相殺方式	151	158,545	1,952,927	510,797,585	33,345,643	18,525,385	14,820,258
	小計	167	177,528	2,146,272	549,310,236	35,042,934	19,468,326	15,574,608
スイートコーン	全相殺方式	210	39,621	3,308,270	593,834,420	15,231,903	8,462,212	6,769,691
かぼちゃ	全相殺方式	142	8,262	1,191,278	218,516,054	6,489,958	3,605,560	2,884,398
合計		519	225,411	6,645,820	1,361,660,710	56,764,795	31,536,098	25,228,697

(被 害)

項目		被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共 済 金 共済金額
畑作物区分						
大豆	半相殺・一筆方式	11	4,394	16,676	2,407,748	6.3
	全相殺方式	97	99,992	280,628	72,321,092	14.2
	小計	108	104,386	297,304	74,728,840	13.6
スイートコーン	全相殺方式	42	5,738	54,559	9,793,333	1.6
かぼちゃ	全相殺方式	36	2,345	43,571	7,992,211	3.7
合計		186	112,469	395,434	92,514,384	

【被害状況】

【大豆】

一部地域の畑地では、干ばつの影響から土壌が乾燥し、不稔莢が多く青立ちとなり収穫量が大きく減少した。また、8月22日の台風9号の暴風雨により排水路等が溢れ冠水及び浸水し皆無となる圃場があり、その後の度重なる台風の接近や上陸に伴う降雨により土壌水分が過多となり、根腐れ等による生育不良や子実の変形、肥大不足となり規格外も多く甚大な被害となった。

【スイートコーン】

5月に30℃を超える日もあり平年に比べ気温が高く、梅雨入り後の降水量が少なかったことから、土壌が乾燥し子実肥大に影響を受け雄穂開花期の圃場では受精率が低下し結実不良となった。また、雷雨により倒伏した圃場では、粒列の乱れや先端不稔が見受けられ、子実の肥大不足及び規格外が多くなり減収につながった。

【かぼちゃ】

5月に30℃を超える日もあり平年に比べ気温が高く、根が活着不良となり、梅雨入り後は降水量が少なく草勢が弱っている状態に加え、うどんこ病なども重なり生育不良となった。また、7月以降も高温から草勢が弱い圃場では二番、三番果実の着果不良や肥大不足及び奇形果が多くなり減収につながった。

(支 払)

項目 畑作物区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金 %
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
			円	円	円	円	円	円	
大 豆	半相殺・一筆方式	2月7日	2,407,748	1,926,198	481,550				100
	全相殺方式	3月28日	72,321,092	57,856,873	14,464,219				100
	小 計		74,728,840	59,783,071	14,945,769	0	0	0	100
ス イ ー ト コ ー ン	全相殺方式	11月29日	9,793,333	7,834,666	1,958,667				100
か ぼ ち ゃ	全相殺方式	11月29日	7,992,211	6,393,768	1,598,443				100
合 計			92,514,384	74,011,505	18,502,879	0	0	0	100

(3) 果樹共済関係 (なし)

(引 受)

年産	項目 果樹区分	組合 員数	引受 面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
平成 28 年産	半相殺減収 総合方式	14	170	39,751	7,351,000	510,899	470,615	40,284
	半相殺特定 危険方式	253	12,995	2,937,509	631,273,000	24,817,956	22,617,601	2,200,355
	樹園地単位 特定危険方式	136	11,848	2,787,059	522,321,000	10,185,845	9,026,087	1,159,758
	合計	403	25,013	5,764,319	1,160,945,000	35,514,700	32,114,303	3,400,397
平成 29 年産	半相殺減収 総合方式	12	148	32,555	5,602,000	390,129	359,115	31,014
	半相殺特定 危険方式	233	12,034	2,626,952	505,555,000	19,890,094	18,213,091	1,677,003
	樹園地単位 特定危険方式	133	11,420	2,602,284	439,367,000	8,457,527	7,526,215	931,312
	合計	378	23,602	5,261,791	950,524,000	28,737,750	26,098,421	2,639,329

(被 害)

項目 果樹区分	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金
				共 済 金 額
半相殺減収総合方式	人 1	kg 1,134	円 39,410	% 0.5
半相殺特定危険方式	9	14,338	658,030	0.1
樹園地単位特定危険方式	4	3,098	132,500	0.0
合計	14	18,570	829,940	0.1

【被害状況】

【半相殺減収総合方式】

4月中旬の降雨により黒星病の子のう胞子が飛散した。5月に入り一部園地において芽基部や葉柄部に感染し、その後、果実に病斑の被害を受けたが軽微な被害となった。また、一部園地においては、越冬量が多かったカメムシによって、果実が変形するなどの被害を受けたが軽微な被害となった。

【半相殺特定危険方式・樹園地単位特定危険方式】

8月22日の台風9号の暴風雨により管内各地において被害が発生した。収穫前の豊水、あきづき、新高、にっこりなどに果実の落果、スレ等の被害を受けたが軽微な被害となった。

(支 払)

項目 果樹区分	支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
半相殺減収総合方式	12月13日	円 39,410	円 31,528	円 7,882	円	円	円	% 100
半相殺特定危険方式	12月13日	658,030	526,424	131,606				100
樹園地単位 特定危険方式	12月13日	132,500	106,000	26,500				100
合計		829,940	663,952	165,988	0	0	0	100

(4) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格 頭数	事業計 画頭数 (a)	引受頭数 (b)	計画 達成率 $\frac{(b)}{(a)}$ %	共済金額 円	徴収共済掛金 (A) 円	納入保険料 (B) 円	手持共済掛金 (A)-(B) 円
乳用牛	2,733	4,200	4,243	101.0	681,443,800	25,740,909	15,895,646	9,845,263
肉用牛	10,018	7,320	7,693	105.1	968,339,150	8,787,034	5,363,019	3,424,015
馬								
種 豚	13,291	9,250	9,328	100.8	371,056,103	2,078,438	1,386,351	692,087
肉 豚	114,641	79,250	82,574	104.2	843,321,000	31,549,015	21,034,332	10,514,683
合 計	140,683	100,020	103,838	103.8	2,864,160,053	68,155,396	43,679,348	24,476,048

(事 故)

項目 区分	死 廃 事 故			病 傷 事 故		
	頭 数			支払共済金 円	件 数 件	支払共済金 円
	死 亡	廃 用	計			
乳用牛	177	67	244	43,928,578	3,384	43,923,310
肉用牛	39	4	43	6,539,244	1,137	18,516,260
馬						
種 豚	52	26	78	3,476,818	6	53,330
肉 豚	7,517	0	7,517	69,985,723		
合 計	7,785	97	7,882	123,930,363	4,527	62,492,900

【被害状況】

【乳用牛】

死廃・病傷事故については、事故頭数の増加や共済金額の増額に伴い、支払共済金は大幅に増加した。

【肉用牛】

死廃事故について、昨年は関東・東北豪雨の影響により大きな支払共済金になったが、本年度は連合会家畜診療センターの治療や診療等により死廃事故頭数、病傷事故件数とも大幅に減少した。

【種豚・肉豚】

種豚の死廃・病傷事故は、頭数で若干増加したものの、共済金額の増額に伴い支払共済金は増加した。

肉豚については、引受頭数の増加や夏場の暑さの影響もあり事故頭数が増加し支払共済金も増加した。

(損害防止)

特定損害防止事業及び一般損害防止事業を実施し、共済事故の未然防止並びに事故拡大防止に努めた。

項目 区分	実施期日	実施頭数	重 点 事 項	経費 円	摘 要 円
特定損害防止	2月28日	10	周産期疾患及び飼養管理指導	71,360	連合会 71,360
一般損害防止 (予防衛生措置)	5月～3月	95,500	血液検査・予防衛生・消化器病 予防対策・内外寄生虫駆除等	3,083,189	連合会 1,556,379 組合 1,526,810

【乳用牛】

血液検査、ボバクチン、ビオスリーの配布による予防対策及び飼養管理指導を行った。

【肉用牛】

エコメクチンの散布、血液検査、固形カウストン、ビオスリーの配布による予防対策及び飼養管理指導を行った。

【種豚・肉豚】

ワクチン接種に対する補助、各種殺菌剤の配布による予防対策及びPED対策として消石灰の配布を行った。

(5) 園芸施設共済関係
(引 受)

項目 施設区分	組合 員数	引受 棟数	引受 面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
	人	棟	a	千円	千円	円	円	円
ガラス室Ⅰ類								
ガラス室Ⅱ類	26	46	296	291,710	233,332	171,070	103,030	68,040
プラスチック ハウスⅠ類								
プラスチック ハウスⅡ類	2,077	12,380	32,488	7,426,211	5,931,908	48,557,778	29,265,176	19,292,602
プラスチック ハウスⅢ類	235	318	4,150	1,746,993	1,397,285	10,123,577	6,145,119	3,978,458
プラスチック ハウスⅣ類甲	319	499	5,199	3,001,279	2,400,538	10,671,423	6,467,164	4,204,259
プラスチック ハウスⅣ類乙	52	74	1,061	729,853	583,811	2,012,527	1,450,463	562,064
プラスチック ハウスⅤ類	22	37	583	562,274	449,781	2,439,301	1,820,970	618,331
プラスチック ハウスⅥ類	17	28	182	20,932	16,734	407,979	244,976	163,003
プラスチック ハウスⅦ類	118	246	6,162	274,661	219,611	751,347	454,346	297,001
合 計	(延) 2,866	(延) 13,628	50,121	14,053,913	11,233,000	75,135,002	45,951,244	29,183,758

(被 害)

項目 施設区分	被 害			損害の額	共 済 金						共済金 共済金額	
	組合 員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附帯 施設	施設内 農作物	撤去 費用	復旧費用			合 計
									特定園芸施設	附帯施設		
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅰ類												
ガラス室Ⅱ類												
プラスチック ハウスⅠ類												
プラスチック ハウスⅡ類	353	1,228	3	108,340,766	28,224,348	203,869	55,407,396	734,416	1,812,749	86,382,778	1.46	
プラスチック ハウスⅢ類	23	24		11,911,801	4,401,993		3,913,008	1,214,000		9,529,001	0.68	
プラスチック ハウスⅣ類甲	36	42		9,642,290	1,777,760		5,936,025			7,713,785	0.32	
プラスチック ハウスⅣ類乙	2	2	2	165,676			82,736			49,804	132,540	0.02
プラスチック ハウスⅤ類												
プラスチック ハウスⅥ類	1	1		624,340	498,847					498,847	2.98	
プラスチック ハウスⅦ類	9	9		731,772	585,202					585,202	0.27	
合 計	(延) 424	(延) 1,306	5	131,416,645	35,488,150	286,605	65,256,429	1,948,416	1,812,749	49,804	104,842,153	0.93

【被害状況】

自然災害では、8月22日の台風9号の暴風雨により特定園芸施設の損害や浸水による施設内農作物の全損等の被害が管内全域にわたり発生し甚大な被害となった。特に協和地域では大型鉄骨ハウスの基礎が持ち上げられ全損となる被害が発生した。

病虫害では、黄化葉巻病の発生により、収穫期を迎えた抑制栽培のトマトに多大な被害が発生した。

(支 払)

手持共済掛金	既経過共済掛金	責任準備金繰入額	責任準備金戻入額	当期手持共済掛金
円	円	円	円	円
29,183,758	10,946,937	18,236,821	18,351,942	29,298,879

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
	保 険 金	手持共済掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
104,842,153	83,873,230	20,968,923	0	0	0	100

(6) 建物共済関係

(引 受)

種 別	加 入		共済金額	共 済 掛 金		平均共済金額	
	戸 数	棟 数		純掛金	賦課金	戸当たり	1棟当たり
総 合	5,072	6,521	6,566,283	99,894,032	42,827,023	1,295	1,007
火 災	35,763	74,002	86,774,074	458,061,321	374,184,953	2,426	1,173
合 計	(延) 40,835	(延) 80,523	93,340,357	557,955,353	417,011,976	2,286	1,159

(事 故)

事 故		加入共済金額	支払共済金	備 考
戸 数	棟 数			
256	304	417,088	314,367,269	

【被害状況】

支払戸数は、前年度(684戸)を大幅に下回り256戸となり、支払共済金についても6億6,448万円の支払減となった。これは、一昨年に関東・東北豪雨による損害に対する支払分と、火災事故で1億8,825万円、落雷事故で6,987万円の支払減になるなど、すべての事故において減少したためである。

火災による支払共済金は、2億6,945万円と全体の85.7%を占め、落雷事故についても管内全地域で発生し、1,871万円の支払いとなった。

(7) 農機具共済関係

(引 受)

種 別	加 入		共済金額	共 済 掛 金		平均共済金額	
	戸 数	台 数		純掛金	賦課金	戸当たり	1台当たり
総 合	4,411	14,729	3,222,997	162,762,263	37,885,398	731	219
火 災	2,733	5,200	394,510	3,391,425	757,810	144	76
合 計	(延) 7,144	(延) 19,929	3,617,507	166,153,688	38,643,208	506	182

(事 故)

事 故		加入共済金額	支払共済金	備 考
戸 数	台 数			
719	840	284,998	291,962,709	

【被害状況】

支払対象台数は、前年度(797台)に対し43台の増となり、機種別ではトラクター203台、ロータリー178台、コンバイン169台の3機種で全体の65.5%を占めた。支払共済金については、1億291万円の支払減となり、盗難については、13台、2,501万円の支払いとなった。また、一昨年に関東・東北豪雨の損害に対する支払合計額(27年度・28年度)は、4億2,058万円となった。